

臨床研修医のための漢方医学入門

すぐに役立つ漢方処方

これだけは知っておきたい漢方処方

覚えておきたい漢方概論

●監修●

高久 史磨

(自治医科大学学長)

北村 聖

(東京大学教授・医学教育国際協力研究センター)

ホ チュウ エツ キ トウ
⑦ 補中益気湯 (TJ-41)

渡辺 賢治

(慶應義塾大学医学部漢方医学講座助教授)

■補中益気湯とは

- 虚弱体質、慢性疾患、外科手術後など、種々の原因で体力が低下した状態に広く用いられる。
- 腹壁の緊張が弱く、上腹部大動脈の拍動(臍上悸)を触れることが多い。軽度の肋骨弓下部の抵抗・圧痛(胸脇苦満)、ときとして心窩部の振水音(心下振水音)を認める。
- 一般に、脈は軟弱で、全身倦怠感があり、言語・眼筋に力がなく、食欲不振、咳嗽、微熱、盗汗、動悸、不安などの症状を伴う(図1)。

■補中益気湯が用いられる主な疾患・症状

- 補中益気湯が用いられる主な疾患・症状を表1に挙げる。

出典	弁惑論
構成生薬	黄耆、蒼朮、人参、当帰、柴胡、大棗、陳皮、甘草、升麻、生姜
使用目標	比較的体力の低下した人が、全身倦怠感、食欲不振などを訴える場合に用いる。 1) 虚弱体質、結核症などの慢性疾患で上記症状を呈する場合 2) 術後、病後、産後などで衰弱している場合 3) 咳嗽、微熱、盗汗、動悸などを伴う場合
腹力	弱
腹証	臍上悸、胸脇苦満、ときに心下振水音

実 やや実 中間 やや虚 虚

図1 補中益気湯とは

- 病後、術後、慢性疾患などで体力の低下した状態で、特に消化吸收機能が衰えて全身倦怠感、食欲不振、気力低下などの気虚症状が強い場合に用いられる。
- 病後や術後に低下した免疫機能を賦活して、感染防御力を増強する効果も期待できる。

■病後、術後の体力増強と補中益気湯

<病後、術後の体力増強と補中益気湯の有効性>

- Immuno-compromised hostの免疫・栄養状態改善効果を検討したランダム化比較試験では、乳糖投与群に比べて、補中益気湯投与群では予後判定栄養指数の有意な増加が認められた(図2)¹⁾。
- 進行胃・大腸癌患者を対象に周術期の生体反応に及ぼす効果を検討したランダム化比較試験では、術後の過剰な全身性炎症反応症候群(SIRS)と代償性抗炎症反応症候群(CARS)を制御することで、術後感染に対する防御力を増強することが示唆されている(図3)²⁾。
- 慢性閉塞性肺疾患(COPD)を含む慢性呼吸器疾患患者の感冒罹患回数などを検討した比較臨床試験で、非投与群に比較して有意に感冒罹患頻度が減少し、また長期

表1 補中益気湯が用いられる主な疾患・症状

全身症状	各種疾患・術後の体力低下、食欲不振、虚弱体質、疲労倦怠、易疲労、夏やせ、腺病質、膠原病の体力低下、癌化学療法・放射線療法時の副作用軽減
呼吸器	かぜ症候群、慢性気管支炎(こじれて症状が長引くもの)、肺結核、気管支喘息、肺炎、気管支拡張症、肺気腫
消化器	上部消化管機能異常(胃下垂、消化機能減退)、痔核、痔疾、脱肛、痔瘻、肛門周囲膿瘍、急・慢性肝炎、肝硬変
循環器	低血圧症
神経・筋	脳血管障害後遺症
皮膚	アトピー性皮膚炎
耳鼻咽喉	慢性中耳炎、慢性副鼻腔炎
その他	貧血症、盗汗、多汗症、陰萎、内臓下垂症、子宮下垂、男性不妊、慢性腎炎、慢性化膿性の諸疾患

服用のCOPD症例では体重増加と呼吸困難感の改善がみられた³⁾。

<補中益気湯を用いる際のポイント>

●体力の低下した状態に使用される補剤には十全大補湯や人参養栄湯(気血両補剤)もあるが、皮膚乾燥や貧血などの血虚症状がないもの、あるいは言語・眼勢に力がない、意欲が湧かないなどの気虚症状が強い場合には補中益気湯(補気剤)がよい(表2)。

- 補中益気湯では軽度の胸脇苦満が認められることが多い。
- 食欲不振が強い場合にも補中益気湯を選択するとよい。

<補中益気湯の薬理作用>

- 病後、術後の体力低下に対する作用としては、免疫不全状態の改善作用⁴⁾、感染時の免疫低下に対する改善作用⁵⁾、担癌状態の生体防御機構の修復作用⁶⁾などが報告されている。また、感冒に対する作用⁷⁾も報告されている。
- 作用機序としては、白血球やNK細胞などの免疫担当細胞を介した免疫調節作用が示されている。

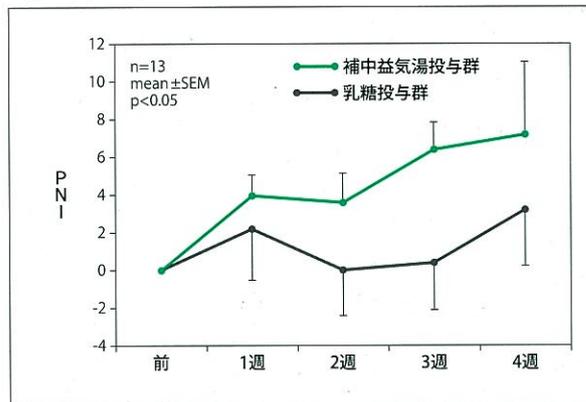


図2 予後判定栄養指数(PNI)に対する補中益気湯の効果

■注意事項

- 甘草による偽アルドステロン症やミオパシーがみられることがある。
- 黄耆による発疹などの過敏症状があらわれることがある。

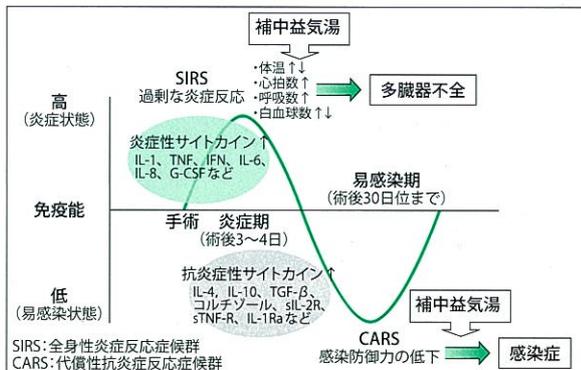


図3 手術侵襲による炎症反応と感染防御力低下に対する補中益気湯の作用
表2 補剤

補気剤	身体に力をつけ、気虚を改善する	人參 剤：四君子湯、人參湯、六君子湯 參 者 剤：補中益気湯 建中湯類：小建中湯、当歸建中湯、黄耆建中湯 補 腎 剤：六味丸、八味地黄丸、牛車腎気丸
補血剤	身体に力をつけ、血虚を改善する	四物湯、七物降下湯
気血両補剤	身体に力をつけ、気虚・血虚ともに改善する	參 者 剤：十全大補湯、人參養栄湯、大防風湯、清暑益気湯

■文献

- 1) 鈴木淳一, 他: Prog Med 22: 1362-1363, 2002.
- 2) 斎藤信也, 他: 日本臨床外科学会雑誌 67(3): 568-574, 2006.
- 3) 杉山幸比古, 他: 日本胸部臨床 56: 105-109, 1997.
- 4) Hirokawa K, et al: Meck Ageing Dev 122: 341-352, 2001.
- 5) 大野修嗣: アレルギー 37: 107-114, 1998.
- 6) 久保千春, 他: 漢方と免疫・アレルギー 1: 50-57, 1998.
- 7) 杉山幸比古: 漢方と最新治療 8(3): 215-217, 1999.